

科目ナンバリング		U-LAS01 10009 LJ38									
授業科目名 ＜英訳＞		西洋史Ⅱ Western History II				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 福元 健之			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		歴史・文明(基礎)			使用言語		日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	月2/金3		配当学年	全回生		対象学生	全学向	
【授業の概要・目的】											
国家とは何か。これは、哲学や政治学だけではなく、歴史学においても非常に重要な問題をなしている。本講義では、この問題に関して、東ヨーロッパのポーランドの歴史から考える。その際、中心となる問いは、中近世以来、君主政であったポーランドが、王のいない共和国として独立を果たしたのは、なぜ・いかにしてであったのかというものである。この問いに関連する史料の解説を行いながら、文脈に即した歴史学的思考を受講者は学ぶ。 また、そのように歴史をつぶさにみていけば、ポーランドの独立は、最初から定められた既定路線があって実現したわけではなく、その過程ではいくつもの路線が政治闘争に敗れたことがわかる。そうした消滅した可能性も含めて歴史を再構成した際には、今日のウクライナやガザで起きている問題との共通性もみえてくるであろう。											
【到達目標】											
西洋近現代史の基礎知識を学ぶことを通じて、文脈に即した歴史学的思考ができるようになると同時に、「国家とは何か」という問題に関して、自分なりの見解がもてるようになる。											
【授業計画と内容】											
授業回数はフィードバックを含めて全15回とする。											
1．イントロダクション 2．「王のいる」共和国 3．フランス革命とポーランド分割 4．蜂起と大亡命 5．有機的労働（実業） 6．ナショナリズムと社会主義 7．1905年革命 8．ユダヤ人問題 9．第一次世界大戦とポーランド問題 10．摂政評議会のポーランド立憲王国構想 11．「共和国」の革命											
----- 西洋史Ⅱ(2)へ続く↓↓↓ -----											

西洋史II(2)

1 2 . 普通選挙制導入の意味

1 3 . 人民の夢

1 4 . 国際人道支援

1 5 . フィードバック

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

授業内の課題（30点）、期末筆記試験（70点）で評価する。

【教科書】

使用しない

授業中に資料を配布する

【参考書等】

（参考書）

福元健之『王のいない共和国の誕生』（群像社, 2023）ISBN:9784910100333

この他、授業中に紹介する。

【授業外学修（予習・復習）等】

予習・復習は、授業で配布した資料を利用するとよい。授業中に紹介する文献や、図書館で関連する文献を自分でみつけ、読んでみることで、理解をさらに深めることができる。

【その他（オフィスアワー等）】

【主要授業科目（学部・学科名）】